2025年３月期
決算説明会

ロート製薬株式会社

2025年５月13日

Agenda

1. 2025年３月期業績の概要

2. 2026年３月期業績予想

2025年3月期
（4月1日～3月31日）
連結決算の概要

副社長　兼　CFO
斉藤　雅也

2025年3月期の概況

- 概況
  - 国内は雇用や所得環境の改善により個人消費は若干持ち直すものの、物価高に伴う消費者の節約志向が高まる
    お客様のニーズに合った商品提案、インバウンド需要の増加や円安の影響に加えて、新たに株式を取得したシンガポールの漢方薬製造販売企業ユーヤンサン・インターナショナル社（EYS社）やオーストリアのモノ社を連結の範囲に含めたことにより、大幅増収
  - 利益面では、原価率の上昇に加え、研究開発費や新規連結に伴う人件費や減価償却費などの販売費及び一般管理費が増加した結果、減益（第４四半期では増益）
- 国内市場は増収減益
  - ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄの「ロートV5」、新製品が好調なリップクリームや「肌ラボ」、新製品のヘアマスク「GYUTTO」、「ケアセラ」、日やけ止め、高額目薬等が好調に推移
  - インバウンド需要も増加
  - ロートニッテン㈱など子会社も増収に寄与
  - 原価率の上昇に加え、広告費は減少したものの研究開発費やシステム関連費など販売費及び一般管理費の増加により減益に
- 海外各地域で2ケタ増収、増益
- アジアはEYS社の、欧州はモノ社の半年分の損益を連結に含めた

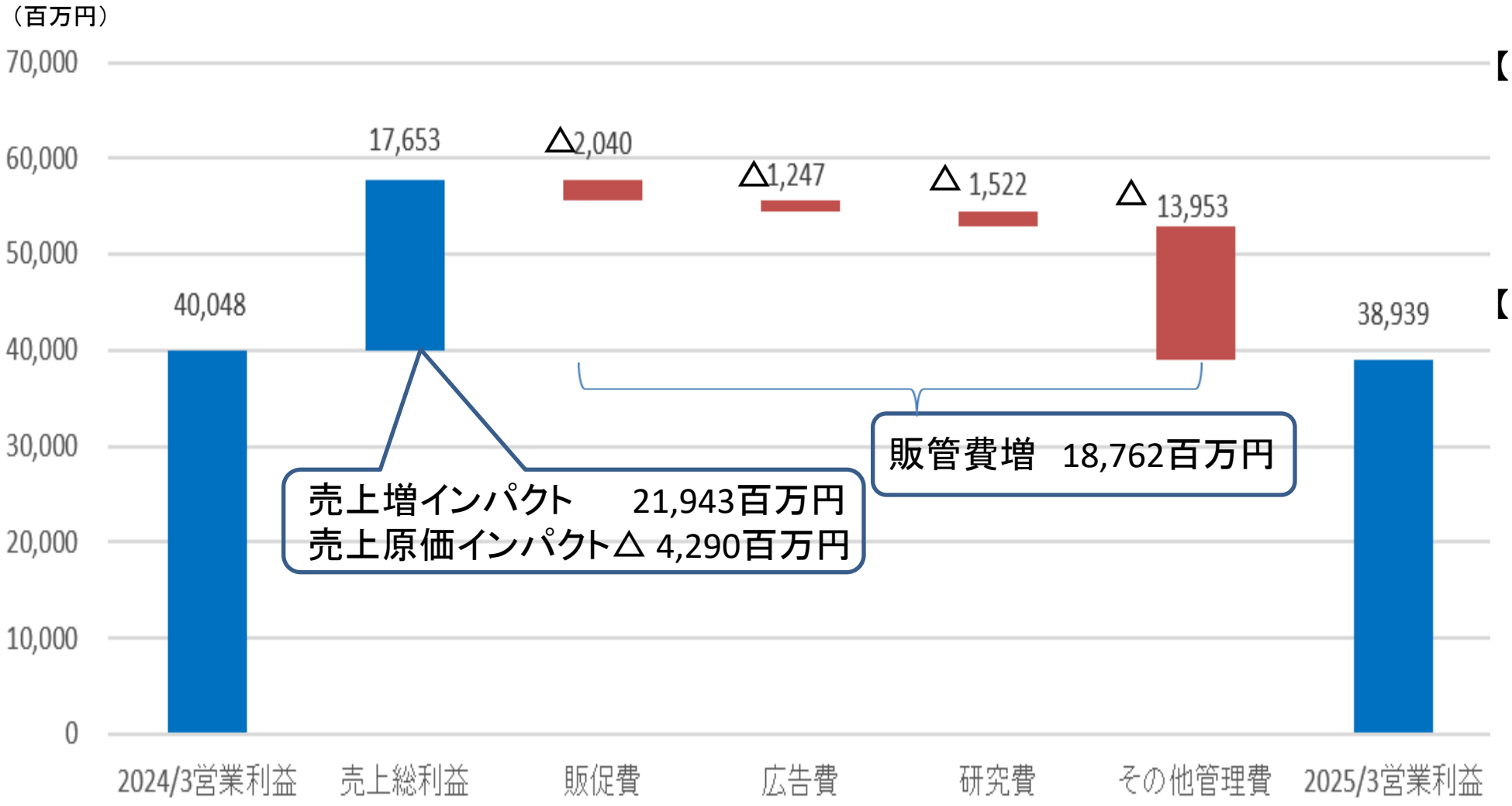
連結損益

（単位：百万円） 未満切捨	2023年度		2024年度					
	第４四半期	通期	第４四半期			通期		
	金額	金額	金額	対前期（%）	売上高比	金額	対前期（%）	売上高比
売上高	69,676	270,840	**82,730**	18.7	100.0	**308,625**	14.0	100.0
売上総利益	39,866	157,285	**45,942**	15.2	55.5	**174,939**	11.2	56.7
販管費	35,080	117,237	**39,270**	11,9	47.5	**135,999**	16.0	44.1
販促費	5,638	16,242	**5,524**	▲2.0	6.7	**18,282**	12.6	5.9
広告費	11,849	37,977	**11,517**	▲2.8	13.9	**39,224**	3.3	12.7
研究開発費	5,012	13,390	**3,238**	▲35.4	3.9	**14,912**	11.4	4.8
その他	12,580	49,627	**18,989**	51.0	23.0	**63,580**	28.1	20.6
営業利益	4,786	40,048	**6,671**	39.4	8.1	**38,939**	▲2.8	12.6
経常利益	5,187	42,434	**7,046**	35.8	8.5	**40,430**	▲4.7	13.1
親会社株主に帰属する当期純利益	4,778	30,936	**6,199**	29.7	7.5	**31,006**	0.2	10.1
EBITDAマージン(%)	―	18.0	**―**	―	―	**16.9**	―	―

- ２ケタ大幅増収
- 為替の影響
  - 売上77億円＋
  - 営業利益8.9億円＋
- EYS連結効果：
  - 売上　165億円＋
  - 営業利益10.4億円＋
  - （のれん償却10.9億円、取得手数料3.7億円を除く）
- 日本では天候要因で、花粉・季節商材が伸び悩む
- アジアは中国、香港、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ減速の影響を受ける
- 売上総利益率は日本の原価率悪化の影響を受けて減少
- 第４四半期に広告費、研究開発費が減少したものの EYS取得による人件費増等により販管費が増加
- 下期が増益に転じたものの想定ほどは伸びなかったため営業利益、経常利益は減益に
- 為替ﾚｰﾄ

USﾄﾞﾙ：152.61円（前年143.31円）
中国元：21.02円（前年19.82円）

連結営業利益の変動の構成（前年比較）



【原価率】
日本の労務費、減価償却費の増加、操業度の低下が要因

【その他管理費】
EYS社とモノ社連結による人件費、のれん代、店舗リース代等の増加が要因

報告セグメント別売上

・各地域で増収
・海外は2ケタ成長

(単位：百万円) 未満切捨	2023年度		2024年度					
	第４四半期	通期	第４四半期			通期		
	金額	金額	金額	対前期（%）	構成比	金額	対前期（%）	構成比
日本	38,772	156,851	**38,742**	▲0.1	46.8	**164,988**	5.2	53.5
アジア	22,003	78,751	**31,789**	44.5	38.4	**100,336**	27.4	32.5
アメリカ	4,865	18,565	**5,621**	15.5	6.8	**20,769**	11.9	6.7
ヨーロッパ	3,356	13,884	**5,753**	71.4	7.0	**19,163**	38.0	6.2
計	68,998	268,053	**81,907**	18.7	99.0	**305,258**	13.9	98.9
その他	678	2,786	**822**	21.3	1.0	**3,366**	20.8	1.1
売上高	69,676	270,840	**82,730**	18.7	100.0	**308,625**	14.0	100.0

※売上高は外部顧客に対するものです

報告セグメント別営業利益

(単位：百万円) 未満切捨	2023年度		2024年度					
	第４四半期	通期	第４四半期			通期		
	金額	金額	金額	対前期（%）	構成比	金額	対前期（%）	構成比
日本	2,776	24,437	**3,969**	43.0	59.5	22,453	▲ 8.1	57.7
アジア	1,189	12,028	**1,473**	23.9	22.1	12,289	2.2	31.6
アメリカ	241	1,205	**457**	89.7	6.9	1,542	27.9	4.0
ヨーロッパ	343	1,385	**448**	30.6	6.7	1,425	2.9	3.7
計	4,550	39,057	**6,349**	39.5	95.2	37,710	▲ 3.4	96.8
その他	402	240	**144**	257.9	2.2	354	47.2	0.9
調整額	195	750	**178**	▲ 8.8	2.7	874	16.6	2.2
営業利益	4,786	40,048	**6,671**	39.4	100.0	38,939	▲ 2.8	100.0

・海外は増益
・下期では日本も増益

日本　増収減益

売上高	1,649億88百万円	前年比	5.2%増（第4四半期：同 0.1%減）
営業利益	224億53百万円	同	8.1%減（第4四半期：同43.0%増）

- サプリメントの「ロートV5」、新製品が好調なリップクリームや「肌ラボ」、新製品のヘアマスク「GYUTTO」、「ケアセラ」、日やけ止めや高額目薬等が好調に推移
- インバウンド需要過去最高を更新
- ロート単体だけでなく、ロートニッテン㈱も増収に寄与
- 広告費をコントロールしたものの原価率の上昇に加え、研究開発費など販売費及び一般管理費の増加により減益

発売と同時に大人気！ぽってりツヤ膜プランパーリップ「リップフォンデュ」

数々の賞を受賞！
発売と同時に品切れ
ダメージによる大人のクセ髪に
「GYUTTO」

基礎化粧品ブランドとしてドラックストアで1位の「肌ラボ」と2位の「メラノCC」※

通販でも大人気のサプリメント「ロートV5 アクトビジョン」

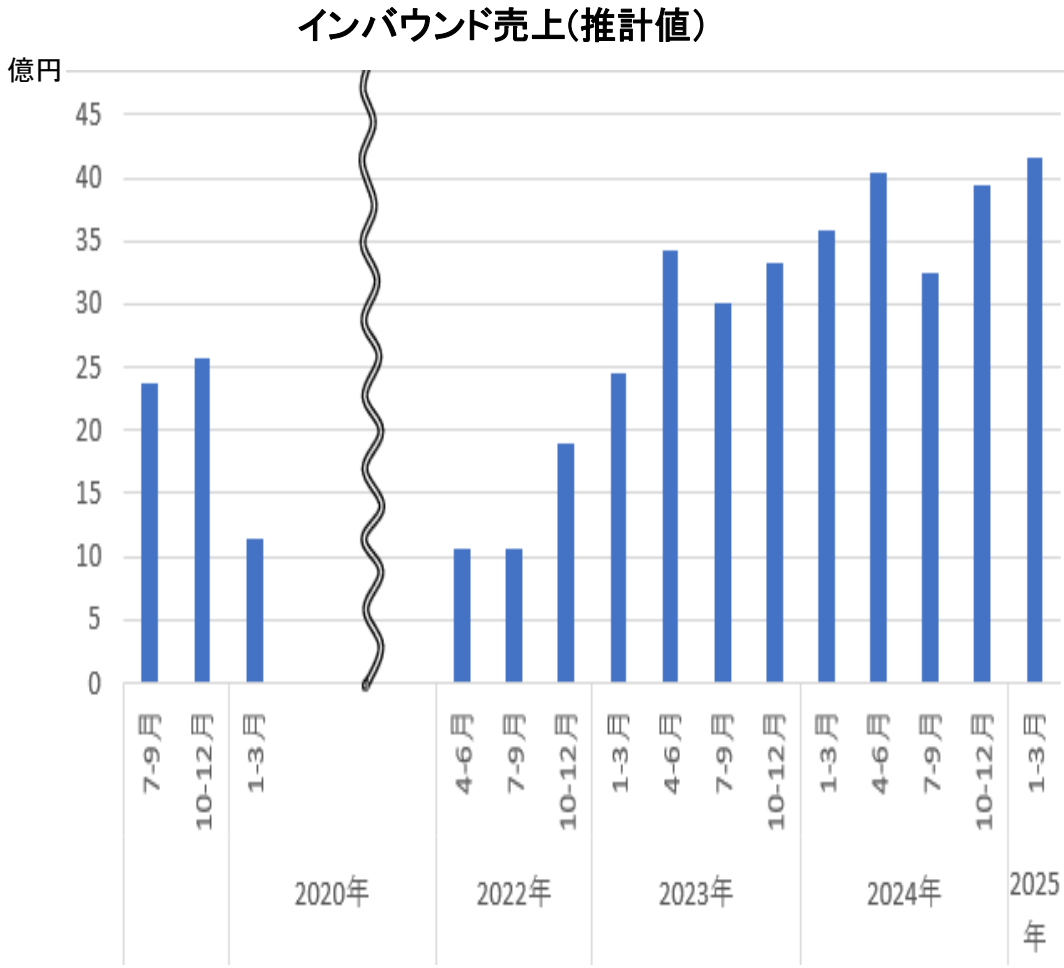
※インテージSRI+[Weekly]
対象カテゴリー：基礎化粧品計（4カテゴリー）
累計期間：2024年4月～2025年3月、個数ベース

インバウンド需要過去最高を更新

目薬は不動の人気

インバウンドでも人気の「肌ラボ」「メラノCC」

各種リップクリームも人気



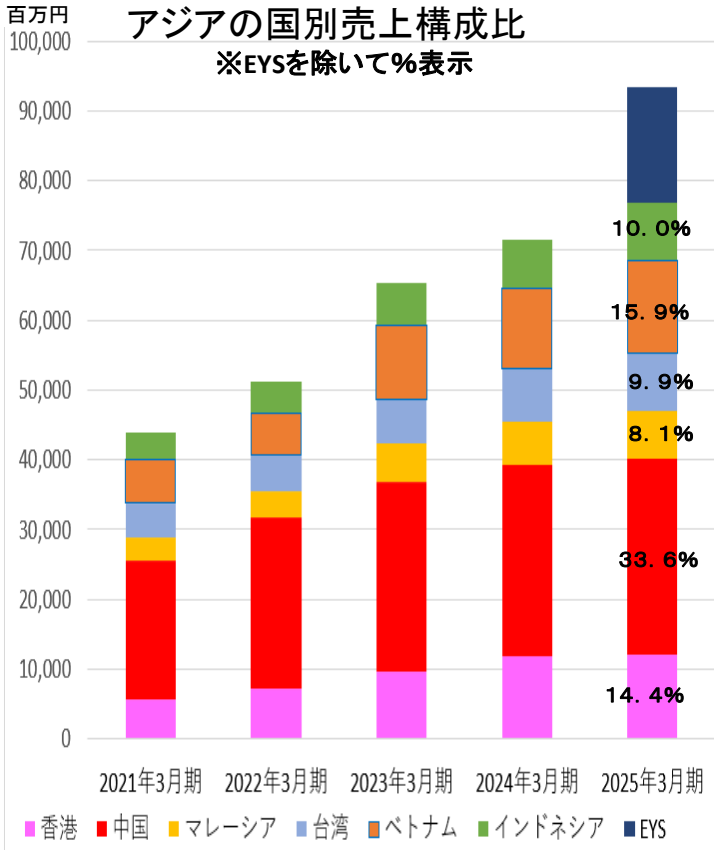
アジア　大幅な増収、増益

売上高　　1,003億36百万円　前年比 27.4%増（第4四半期：同44.5%増）
営業利益　　122億89百万円　　同　　2.2%増（第4四半期：同23.9%増）

- ベトナム、インドネシアなど東南アジアが好調を持続
- EYS社の半年分の連結取り込み、シンガポール・香港市場減速の影響有
- ミャンマーが輸入規制の厳格化の影響を受けて原材料や製品の輸入が困難になり大幅な減収、減益
- 「肌ラボ」、フケ抑制シャンプー「セルサン」、「アクネス」、リップ等が好調に推移
- EYS社ののれん償却（10.9億円）と取得手数料（3.7億円）に加え、ミャンマーの減収による影響があったもののベトナム、インドネシアの増収が寄与して増益

ベトナムでは「肌ラボ」発売15周年キャンペーンを行い新規ユーザーの獲得に成功

アジア各国でメンソレータム135周年プロモーションを実施し、ブランド認知の向上と売上拡大に貢献



アメリカ　大幅な増収増益

売上高	207億69百万円	前年比 11.9%増（第4四半期：同	15.5%増）
営業利益	15億42百万円	同	27.9%増（第4四半期：同	89.7%増）

- OTC目薬が順調に推移
- 医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が好調に推移
- 「肌ラボ」が好調なブラジルの連結子会社も増収に寄与
- ハイドロックス・ラボラトリーズ社やブラジルの連結子会社の利益改善が貢献して大幅増益

８月に目薬「Dual Light Relief」を新発売

ヨーロッパ　大幅な増収、増益

売上高	191億63百万円	前年比 38.0%増（第4四半期：同　71.4%増）
営業利益	14億25百万円	同　2.9%増（第4四半期：同　30.6%増）

- 主力の外用消炎鎮痛剤が中東向けの出荷時期のずれの影響があり減収
- 「Perfecta」や販売国を拡大した「Hadalabo Tokyo」が好調なダクス・コスメティクス社が増収に寄与
- 「ロートドライエイド」で2021年より目薬市場を開拓し好調に推移
- モノ社が半年分の連結効果
- 消炎鎮痛剤の減少の影響があったものの、ダクス・コスメティクス社の増収が寄与して増益

「Hadalabo Tokyo」は英国やポーランドに加えて、トルコでの大手小売Gratisとの販売促進や、スペイン市場、南アフリカ市場での展開など新規市場の伸びが成長ドライバーに

2026年３月期
業績予想

業績見通しのポイント

□国内は継続した物価上昇による家計の節約志向の高まりが懸念されるものの賃上げや設備投資の拡大、インバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな持ち直し基調を想定

□海外では通商政策の不確実性の高まり等により、個人消費環境の厳しい状況が続くと想定

□2026年３月期も売上は過去最高を更新

□為替の影響があるものの増益を確保する予定

□日本：中長期の持続的成長に向けて先行投資

　□インバウンドは増加するものの国内消費は手堅く推移と見込む

　□クオリテックファーマ等子会社が減収減益予定

□海外：円高進行予想

　□中国、香港市場が増収に転じる、ベトナム・インドネシア等東南アジアが引き続き成長を牽引予定

　□EYS、モノ社の通期を連結範囲に含める

□22期連続増配予定、配当性向30.5%を予定

業績見通し

□売上は過去最高を更新予定
□為替の影響：売上131億円減、営業利益15億円減
□EBITDAﾏｰｼﾞﾝ　16.7%予定

（単位：百万円、未満切捨,%）

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期予想			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	対前増減額	対前増減率
売上高	270,840	100.0	308,625	100.0	334,500	100.0	25,874	8.4
営業利益	40,048	14.8	38,939	12.6	39,000	11.7	60	0.2
経常利益	42,434	15.7	40,430	13.1	40,500	12.1	69	0.2
親会社株主に帰属する当期純利益	30,936	11.4	31,006	10.1	31,100	9.3	93	0.3
1株当たり当期純利益（円）	135.61	–	136.11	–	137.63	–	–	–
EBITDAﾏｰｼﾞﾝ（%）	18.0	–	16.9	–	16.7	–	–	–
為替レート USﾄﾞﾙ/円	143.31円		152.61円		142円			
元/円	19.82円		21.02円		19円			

報告セグメント別売上予想

□アメリカは△20億円の為替影響を受けて減収、アジアは為替影響△102億円、ヨーロッパは△6億円でも増収

（単位：百万円、未満切捨,%）

		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期予想			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前増減額	対前増減率
売上高		270,840	100.0	308,625	100.0	334,500	100.0	25,875	8.4
報告セグメント	日本	156,851	57.9	164,988	53.5	171,200	51.2	6,211	3.8
	アジア	78,751	29.1	100,336	32.5	116,000	34.7	15,663	15.6
	アメリカ	18,565	6.9	20,769	6.7	20,200	6.0	△569	△2.7
	ヨーロッパ	13,884	5.1	19,163	6.2	23,800	7.1	4,636	24.2
	計	268,053		305,258		331,200	99.0	25,941	
その他		2,786	1.0	3,366	1.1	3,300	1.0	△66	△2.0
為替レート（USドル／円）		143円31銭		152円61銭		142円00銭			

※売上高は外部顧客に対するものです

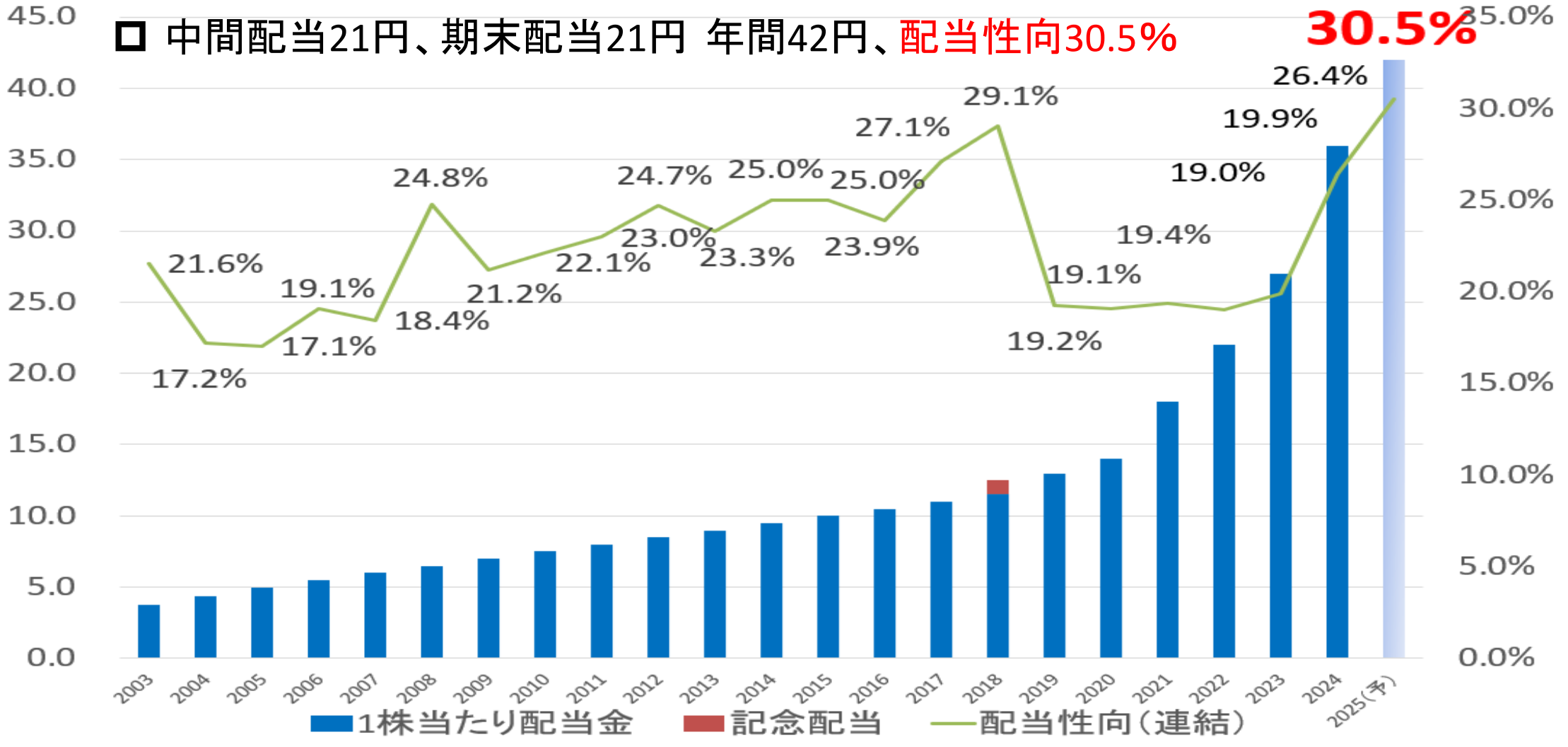
報告セグメント別営業利益予想

□アジア、ヨーロッパが増益
□日本はクオリテックファーマ等子会社の影響により減益
□為替の影響：アメリカ・ヨーロッパは△1億円、アジア△12億円

（単位：百万円、未満切捨,%）

		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期予想			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前増減額	対前増減率
営業利益		40,048	100.0	38,939	100.0	39,000	100.0	60	0.2
報告セグメント	日本	24,437	61.0	22,453	57.7	21,700	55.6	△753	△3.4
	アジア	12,028	30.0	12,289	31.6	12,800	32.8	510	4.2
	アメリカ	1,205	3.0	1,542	4.0	1,400	3.6	△142	△9.2
	ヨーロッパ	1,385	3.5	1,425	3.7	2,000	5.1	574	40.3
	計	39,057		37,710		37,900			
その他		240	0.6	354	0.9	300	0.8	△54	△15.3
調整額		750	1.9	874	2.2	800	2.1	△74	△8.5
為替レート（USドル／円）		143円31銭		152円61銭		142円00銭			

22期連続増配予定



※2022年以前は株式分割後換算の数値です

- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料には、医薬品等（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。
- 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。